

人財開発室方針

人財開発室長 峯岸 広利

昨今の先行きの見えない経済情勢や、人間関係が希薄化する社会環境の中に身をおく私たちは、大人に限らず子どもたちまでもが将来に不安を抱えながら今を必死に生きています。そんな不安定な時代に我々 JAYCEE は、今こそ道徳心と秩序に満ち溢れた「明るい豊かな社会」を実現するべく自分自身の人間性に磨きをかけ、企業の中核を担う責任者としての資質向上に努め、その自己変革の志を次代に引き継いでいかなければなりません。

当室では、「JCは学び舎である」という認識のもと、企業や地域において頼られる「リーダー」たらんとする我々 JAYCEE が、率先してその心構えや資質の向上に励むことで今の時代を担うリーダーとしての自覚を持ち、自己の成長を実感できる事業を行います。また、対外的にも地域に役立つ育成事業として、企業や地域を担う人財同士が切磋琢磨し、リーダーとしてそれぞれの立場・環境で活かすことのできる学びの場を提供します。そして、忘れてはならないのが、私たちはみな人と人との交わりを通じてそれぞれの家族や地域、社会を構成している「人間」です。その私たちは、人間としてどうあるべきか。核家族化や近隣関係の疎遠化などに伴い、人間関係が希薄になった今の時代にこそ相手を慮る「おもいやり」が大切であり、その心を育むためにまずは大人がこのことをしっかりと見つめ直し、率先垂範の意識を養う事業を行い大人・親としての自覚を促します。更に、青少年事業を通じて子どもたちの模範となりその「想い」が伝わる機会を創出し、子どもたちとその心を共有することで我々大人が「地域のたから」である子どもを育みます。

「人を変えるにはまず自分から」自らが能動的に考え、学び、行動していくことが企業の活性化、「おもいやり」溢れる家庭や地域の実現につながり、その「志」や「想い」を次代の人財に継承していくことが「真に豊かなまち上越」の創造につながると確信します。

【運営方針】

1. 地域の企業や地域の人と共有できる学びの場を創出します
2. 委員会スタッフをはじめ、それぞれが職責をしっかりと遂行できるよう育成します
3. 「室」のみならず、LOM全体の横のつながりを意識し、事業の相互理解・協力を努めます